

# 塩谷郡市医師会だより

## Contents

- 1 第77回定時総会報告
- 2 第2回理事会報告
- 3 年間行事予定・学術講演会予定
- 4 学術講演会報告
- 5 新入会員紹介・会員投稿

一般社団法人 塩谷郡市医師会  
広報委員会

〒329-1312  
さくら市桜野1319番地3  
さくら市氏家保健センター内  
TEL 028(682)3518  
FAX 028(682)5760

### ◆第77回塩谷郡市医師会定時総会報告

令和6年4月20日(土)さくら市氏家保健センターで第77回定時総会が開催された。定時総会の前に栃木県医師連盟塩谷郡市支部の総会も開催され、令和5年度決算、令和6年度予算について決議された。

定時総会は定款により選出された橋本議長により議事が進められた。医師会員数93名中出席21名、委任状出席43名、計64名の出席で定足数充足が確認されたことにより第77回定時総会の



成立が告げられた。阿久津会長のあいさつの後、佐藤副会長より理事会、総務会、委員会活動などの会務報告があり、その後、議事に入った。



**第1号議案**「令和5年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件」

**第2号議案**「令和5年度塩谷郡市医師会貸借対照表及び損益計算書と各附属明細書の承認を求める件」

**第3号報告事項**「令和6年3月31日現在財産状況の報告について」

**第4号報告事項**「令和6年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算の報告について」

1~4号について説明と報告があり可決承認された。

**第5号議案**「令和6年度・7年度理事及び監事の承認を求める件」

後藤選挙管理委員長より、立候補者は定数内であり無投票当選とするとの報告があり、挙手多数により理事及び監事が承認された。

**第6号議案**「会長及び副会長の承認を求める件」

令和6年度第1回理事会の結果、会長(理事長)に阿久津博美先生、副会長(副理事長)に佐藤泉・村井成之先生が選出され、総会で承認された。

**第7号議案**「栃木県医師会代議員・予備代議員の承認を求める件」

代議員に佐藤泉・村井成之先生、予備代議員に村井信之・花塚和伸先生が選出され、承認された。

**第8号議案** その他

提案・質疑事項なし

### ◆第2回理事会報告

出席者：阿久津会長、佐藤副会長、村井副会長、花塚会計担当理事、佐藤理事・村井理事・仲嶋理事・植木理事・高橋理事・中嶋監事

令和6年5月21日(火)午後6時45分から阿久津会長が議長となり開催された。

- (1) 総務会役員及び会計担当理事の選任について
- (2) 各種委員会、委員及び委員長の嘱託任命について  
各種委員会の委員長より本年度の計画について
- (3) 塩谷郡市医師会の代表として出席する会議について
- (4) 栃木県医師会 理事の選出について
- (5) 栃木県医師会 各種委員会委員の推薦について
- (6) 栃木県医師連盟塩谷郡市支部 副会長、役員(会計責任者・会計責任者職務代行者・会計監督署)の委嘱及び栃木県医師連盟幹事・同委員の推薦について
- (7) 令和6年度の主な予定
- (8) 栃木県からの委託事業について
- (9) その他

塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部
URL <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/</a> メール <a href="mailto:shioya@tochigi-med.or.jp">shioya@tochigi-med.or.jp</a>	高橋 雄二・中嶋 義明・加藤 健・岡 一雄

## 塩谷郡市医師会行事予定

### 令和6年

- 4月20日(土) 第23回医師連盟通常総会  
第77回塩谷郡市医師会定時総会  
第1回理事会
- 4月30日(火) 第1回総務会
- 5月11日(土) 郡市・大学医師会正副会長懇談会
- 5月21日(火) 第2回理事会
- 7月12日(金) 納涼会(高根沢町医師団)
- 8月20日(火) 第2回総務会
- 9月1日(日) 栃木県・矢板市総合防災訓練
- 9月24日(火) 第3回理事会
- 9月28日(土) 郡市・大学医師会正副会長懇談会
- 11月10日(日) 第19回市民公開講座(高根沢町)
- 12月1日(日) 第4回塩谷郡市医師会ゴルフコンペ

### 令和7年

- 1月10日(金) 新年会(矢板市医師団)
- 2月12日(水) 第3回総務会
- 3月4日(火) 第4回理事会
- 4月19日(土) 第5回理事会  
第24回医師連盟通常総会  
第78回塩谷郡市医師会定時総会

## 学術講演会等予定

### 令和6年

- 5月14日(火) 便秘異常
- 6月18日(火) 骨粗鬆症
- 6月20日(木) 産業医研修会
- 7月9日(火) 糖尿病
- 9月3日(火) 不眠症
- 9月26日(木) 県立がんセンター(乳腺外科関連)
- 10月8日(火) 心不全、腎不全
- 10月17日(木) 産業医ケースカンファレンス研修会
- 11月12日(火) 慢性疼痛
- 12月10日(火) 高血圧

### 令和7年

- 1月21日(火) 認知症
- 2月18日(火) 脂質症

**注:** 日程やテーマなどを変更する場合があります。  
(5月末現在)

## 学術講演会 I

「塩谷病院の紹介と地域連携の展望」

日時: 令和5年10月24日(火)

講師: 国際医療福祉大学塩谷病院

脳神経内科 内山 智之 先生

脳梗塞については高度急性期以外の対応病院である。その他認知症、片頭痛が受入れ可能。認知症には多彩な原因があるのであやしいと思われたら早めの紹介が望ましく、是非御相談御紹介を頂きたい。また神経難病ネットワークでは協力病院である等の内容で御挨拶を頂いた。



「神経変性疾患の最近の話題: パーキンソン病とアルツハイマー病」

講師: 国際医療福祉大学塩谷病院

脳神経内科 野崎 一朗 先生

パーキンソン病では、遺伝子と細胞機能不全により中脳黒質ニューロンが炎症を起こし細胞死となる。ドパミンが減ること手足の震え動作の鈍さ、歩きにくさなどの症状で発症する。発病より20年前から病態は始まっており、発病時既に



80%程度の脳細胞が減少している。早期発見早期治療が望まれるところである。初期から進行期、ジスキネジアの治療としてL-dopa、ドパミンアゴニスト、MAO阻害薬等について説明があった。

アルツハイマー病は、認知症の63%の原因となっており、病態として、脳にアミロイドβやタウが溜まり脳神経の変性萎縮が徐々に進行性に生じてくる状態である。2011年にNIA/AAより3亜型の診断基準が示された。診断には脳脊髄液のバイオマーカーやPETを利用したものの紹介があった。治療のトピックスとして、レカメマブがアミロイド沈着を減少消失させる効果があり、認知症の進行を2.5年から3年遅らせる事が確認されている。今後軽度～中程度の認知症患者への投与が可能となり、効果が期待されることである事等、御講演を頂いた。(花塚和伸)

## 学術講演会 II

「C型肝炎撲滅に向けた病診連携」

日時: 令和5年11月14日(火)

講師: 黒須病院 消化器内科

尾本 きよか 先生

## 学術講演会Ⅲ

「GLP-1 受容体作動薬の選び方・使い方」

日時：令和5年12月12日（火）

講師：国際医療福祉大学塩谷病院 副院長

糖尿病・代謝・内分泌内科 部長 山内 恵史 先生



糖尿病の治療目標は普通の人と同じ生活ができる。糖尿病を治すのではなく、進展阻止や合併症を抑える、寛解することが目標で治癒ではない。

慢性合併症には細小血管症（眼症、腎症、神経障害）と大血管症（動脈硬化）があるとい

うこと。認知症、認知機能の悪化、死亡率の上昇、心血管病リスクの上昇があるため、治療では特に高齢者は低血糖にしないことが大切。目標値・期間を決めて次回に治療薬の増量、変更をすることを説明する

（HbA1cは7未満、期間は3～6ヶ月）。

GLP-1 作動薬は日本人には GLP-1 受容体変異が多いため、インクレチン関連薬は欧米人より有効である可能性がある。副作用として嘔吐などの消化器症状があるが、プリンペランの屯用が有効である。

使ってみて効果・副反応などでどうしてもダメであれば早急に撤退。（植木雅人）

## 学術講演会Ⅳ

「アルコール依存症の診断・治療の最新トピックスと認知機能について」

日時：令和6年1月16日（火）

講師：筑波大学 健幸ライフスタイル

開発研究センター長 吉本 尚 先生



内科を受診するアルコール依存症患者は多いが、アルコールの治療を行う医療機関へは行きたがらないことも多い。そんな状況を改善するために、茨城県内でアルコール低減外来の看板を掲げ、主にアルコール

依存症患者の治療を実施。2019年1月から2023年3月までに239人がアルコール低減外来を受診。年齢56.0±13.1歳、女性45人(18.8%)、初診時の週飲酒量は844.0±603.4g、月飲酒日数は26.3±5.4日、月の多量飲酒(HED)日数は24.8±8.0日であった。医療機関での過去の治療歴は47人(19.7%)が内科などでの介入歴、25人(10.5%)はアルコール専門医療機関で

の治療歴があった。AUDIT スコアは22.5±6.8点、223人(93.3%)がアルコール依存症と診断された。3か月後(n=185)、12か月後(n=100)の週飲酒量は332.1±357.7g、292.2±307.9g、月飲酒日数は18.4±12.4日、18.2±12.2日、月HED日数は9.9±12.6日、9.5±12.5日であった。12か月まで追跡できた100人の解析では、初診時と比較して3ヶ月後、12か月後における週飲酒量(p<0.001)、月飲酒日数(p<0.001)、月HED日数(p<0.001)の有意な減少を認めた。

結果、内科で行うアルコール診療は、アルコール依存症患者に対して有意な減酒効果を認めた。

## 学術講演会Ⅴ

「CKDをいかにみていくのか\_\_治療と連携」

日時：令和6年2月20日（火）

講師：国際医療福祉大学塩谷病院 副院長

糖尿病・代謝・内分泌内科 部長 山内 恵史 先生

腎疾患は2002年にアメリカでCKD（慢性腎臓病）という概念が提唱され、日本にも導入されたことで、一般の臨床家に身近な疾患となったが、決め手となる治療法がなかったため、講演会などもあまり行われなかった。ところが糖尿病の治療薬であるSGLT-2が腎機能悪化を抑えることがわかり、さらに保険適用となったため、再びCKDに関する講演会が増加しているという現状である。

山内先生は糖尿病の専門家という立場から、初めにCKDの概観に触れ、さらに腎機能悪化を抑える治療や腎性貧血の治療などを広範に話してくれた。さらにわれわれ開業医と専門医との連携の重要性についても言及された。（岡 一雄）



## ◆新入会員紹介

※令和6年4月1日入会  
国際医療福祉大学塩谷病院  
病院長 佐藤 敦久 先生



※令和6年6月1日入会  
黒須病院  
林 和 先生

よろしく  
お願いいたします！

## ◆新規開院しました (6/17)

桜ヶ丘内科・呼吸器科クリニック

院長 桂 秀樹 先生

さくら市桜ヶ丘 3-1-1

Tel 028-611-6597



この度、さくら市のビューフォレスト喜連川内に桜ヶ丘内科・呼吸器科クリニックを開院いたしました。これまで、気管支喘息、COPDを中心に幅広い呼吸器疾患の診療に従事してまいりました。塩谷郡市医師会の先生方のお力添えをいただきながら地域医療に貢献できるように頑張る所存です。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 会員投稿 ☆

### ◆私にとって 車とは

村井胃腸科外科クリニック 村井成之 (矢板市)  
18歳で免許を取得、19歳で兄のおさぎりの車に乗り始める、後ろから見えるところにはステッカーだらけ、ハンドルを変えたりタイヤを大きくしたり、世界が広がり背中に羽が生えたように思えて、夢のようでした。

仕事が始まりローンで新車購入、パジェロ、ハイルーフ、ウインチ付き、こいつは、竜巻で車庫に隣の看板が倒れ出られなくなった車の救出とかによく働いてくれましたね。

年間4万キロ走る、バイトの嵐、当直しまくり、スピードは出ませんが頼りになるやつでした。

車とは、ストレスを発散させてくれる、心のよりどころで、よき相棒ですね。

### ◆温暖化に思う

阿久津医院 阿久津博美 (高根沢町)  
実家の庭に楠があった。常緑高木で特有の匂いがあり、古くから樟脳の原料として知られている。冬、氷点下10度以下になると葉が霜枯れし、樹勢が弱って何度か枯れそうになったと記憶している。寒冷地には向いていない。当時、幹の直径は50センチくらいだ

ったろうか。

15年ほどして当地で開業したが、驚いたことに楠は繁茂し庭を占拠してしまうほどであった。そればかりか庭や防風林の間に10本ほど新しい楠が自生していた。温暖化で生育に適した気候になったのだろうか、幹の直径は1メートルにもなっていた。

数年前「クスサン」という蛾の幼虫が異常発生した。10センチにもなる大型の蛾の幼虫である。あつという間に楠の葉を食べつくしたため、届くところはトンガバサミで取り除き、業者に殺虫剤を散布してもらった。異常発生は3年ほど続いて収束したが、放置したら枯れていたかもしれない。

温暖化の影響は思いもよらぬ結果を引き起こす。新型コロナもまた生態系の乱れなのかと思う今日この頃である。

### ◆全国医師ゴルフ選手権大会に参加して

氏家病院 松村茂 (さくら市)

2024年5月4日、岐阜県の岐阜関カントリー倶楽部で開催された「第6回全国医師ゴルフ選手権大会」に、栃木県代表として小山地区医師会の斎藤信一郎先生と出場してきました。(勝敗は各都道府県の医師会代表2人のトータルスコアで決まります。)

私は、第2、3、5回大会を斎藤信一郎先生と、第4回大会には塩谷郡市医師会の手塚幹雄先生と、同ゴルフ場での大会に出場させて頂き、今年で5年連続の出場となります。(2020年、2021年はコロナ禍で中止)今までの最高位は第3回大会での準優勝です。私がもう少しいいスコアで回れば・・・と後悔しきりでした。

奇しくも昨年の県医師ゴルフ代表選考会兼親善ゴルフで再び斎藤先生と代表選手となり「今度こそ優勝を目指して頑張ろう!」と2人で決意しました。

気合い充分の2人は本戦前日の3日の練習ラウンドにてコースの下見をし、明日の本戦のために(1時間近く並んで!)うなぎ屋で精をつけました。

本戦当日のグリーンの速さは11.7フィート、プロのトーナメント並みの速さです。6966ヤードという長さ、硬いグリーンにも苦しめられ、結果は、43・41の84という不本意な成績となりました。斎藤先生は37・40の77という好スコアを叩き出し、チーム栃木としてのスコアは161でした。優勝は静岡で、栃木は2打及ばずの2位に終わりました。

今年は必ず優勝し、来年からは後進に道を譲ると2人で考えていましたが、足を引っ張ってしまった私としては、来年もまた斎藤先生と代表選手となってリベンジしたい気持ちでいっぱいです。